



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2008.1月号

今年もよろしく



ツマグロヒョウモン
2007.10.7 花水川



ムラサキツバメ
2006.8.19 文化公園



ヨコヅナサシガメ
2004.5.4 高村



ヒメクダマキモドキ
2006.9.21 総合公園

2008年 新春

新年にあたって

館長 浜口 哲一

今世紀に入ってから世界的な話題の一つに地球温暖化ということがあります。地球環境に大きな影響を与えるおそれのある温暖化を、いかに遅らせていくことができるのか、国際的な議論が続いているのは、皆さんご存じのことでしょう。

博物館では、地域的な情報を収集する仕事を続けていますが、昆虫の記録の中に、温暖化の影響によるものではないかと考えられる事例が多くなっています。開館した30年前には、県内でほとんど見られなかった南方系の種類が現れ、特に1990年代以降に、そうした虫が増えてきているように感じます。ツマグロヒョウモンは、今では市街地でいちばんよく見られるチョウになりました。ムラサキツバメは、幼虫がマテバシイを食べ、文化公園でも撮影されました。ヨコヅナサシガメは、サクラなどの古木にいる大型のカメムシで、うっかり手でつかむと刺されるので要注意ですが、校庭や公園でも普通に見られるようになりました。木の葉のような羽を持つヒメクダマキモドキは、大磯丘陵に定着し、総合公園でも見つかりました。これらの虫たちの今後の動向に気をつけることは、温暖化の進み方を把握していく上で重要な情報源になるでしょう。また、温暖化という現象自体を身にしみて感じる機会の少ない日本人にとって、こうした虫たちはそのことを思い出させてくれる役目も持っていると言えます。

地域の情報を地道に収集し、その蓄積の中から積極的に情報発信をしていく、そうした博物館の役目を改めて認識し、職員一同今年も頑張っていきたいと思っております。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

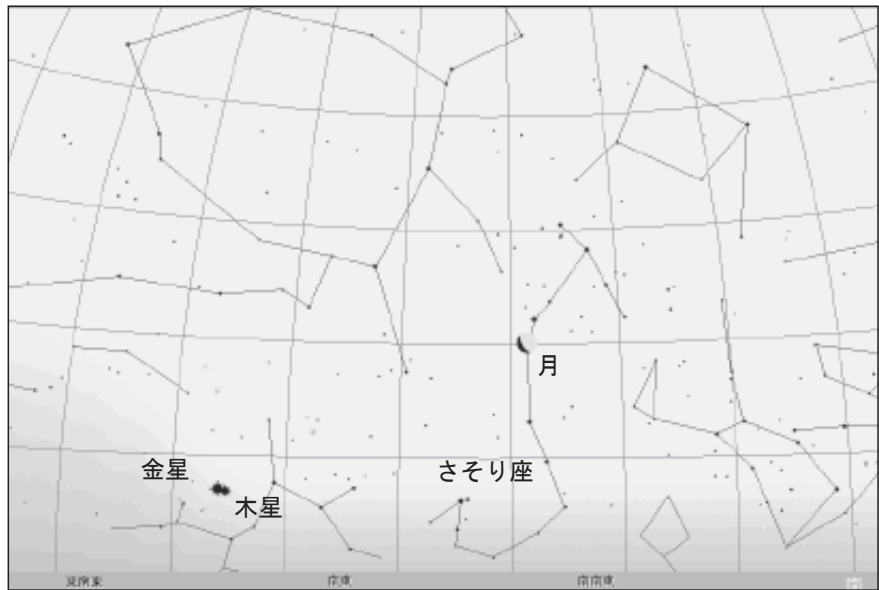
2008年の天文現象

期間:1月5日～2月3日

あけましておめでとうございます。初日の出をごらんになった方は、日の出前に、新しい年の夜明けを告げる金星の輝きを目にされたことでしょう。今年もいろいろな天文現象が待っています。年の初めに、まとめてご紹介しましょう。

●惑星

さて、夜空にはいま火星が明るく輝き、赤い色が目を引きます。火星は地球との距離によって明るさが大きく変わります。現在は距離が近い状態です。これに対し木星・土星などは遠方にあり、距離の変化の影響が小さいため、夜空で輝く明るさはさほど変わりません。今年、土星はいまから春までの間、木星は夏が見ごろです。



冒頭で述べた金星はいま明け方、東の空で輝いていますが、これも春までで、やがて見えなくなります。6月9日を境に太陽より東に移動して「よいの明星」となります。夏休みのうちには夕方、西の空に見つかるかもしれません。方角の表現が東やら西やらちよっとややこしいのですが、地球より内側の惑星なので、太陽の正反対に見えたりはしないのです。

水星は太陽からあまり離れないため、見られる時間が短く、動きがはやく、目にする機会が少ない天体です。今年1月下旬と5月中旬ごろ、夕方の空に見つけるチャンスが訪れます。

2月（明け方）と12月（夕方）の初旬には、金星と木星の2惑星が接近して輝く光景が美しく眺められそうです。

●流星群

流星群は、毎年決まった時期に眺められます。流星数で群を抜くのは夏のペルセウス群と冬のふたご群ですが、今年12月は月明かりの関係でペルセウス群の観測条件が良好です。8月12日の深夜から13日明け方にかけてがピークになりそうです。

●日月食

次の日月食がありますが、日本ではいずれもあまり良い条件ではありません。

2月7日ニュージーランドで金環日食（日本では見られない）

8月1日シベリア・中国皆既日食（日本では部分食も困難）

2月21日皆既月食（日本では見られない）

8月17日部分月食（日本では明け方日没帯食）



今年の十五夜は9月14日(日)。少し早めのお月見です

●星食

月が背後の星を隠す現象です。昨年からはすばる（プレアデス星団）食がたびたび起きています。今年も7月27日、10月17日、11月14日などにありますが、低空だったり、月がまぶしすぎたりで、観察は容易ではなさそうです。

プラネタリウムでは、その時々星空の再現も含めて、さらに詳しく、リアルに解説しましょう。

投影日：土曜日、日曜日 11:00 14:00

観覧料：100円 定員：86名

*ただし1月5日および2月2日土曜日14:00の投影内容は「今月の星空ナビ」になります。

ミニ文化祭 編みと織りの考古学

昨年の3月19日から4月13日まで「第5回足もとに眠る歴史展—編みと織りの考古学」と題しての展示会が東海大学でありました。見学したところ、大変感銘を受けたことから、企画担当した東海大学助手の宮原俊一氏に是非市民の方にも見ていただきたいとお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

考古学は残された遺物・遺構から歴史を復元する学問です。その一つの方法に実験考古学があります。自らの手で道具を作り、再現することによって、古代の技術や暮らしがわかります。古代人がどのような道具と繊維を使い衣服を作ったか、ぜひ展示をごらん下さい。



東海大学での展示会のようす

期間：1月4日（金）～1月29日（火）

会場：博物館2階情報コーナー展示ケース

準備が進む 「第9回博物館まつり」

平塚市博物館の特徴は、多くの市民の方々が活動を支えていることです。その成果を一堂に集め展示する「博物館まつり」を、今年も2月に開催します。博物館で活動するさまざまなグループが、活動の紹介や、最近の調査成果を発表したりします。イベントも多数。お楽しみに。

会場：平塚市博物館 特別展示室

期間：平成20年2月9日（土）～2月24日（日）

時間：9時～17時

参加グループ：14団体

*発表会：2月16日（土）13時～16時〔博物館講堂〕

*ビーチコーミング体験：

2月16日（土）9時30分～11時〔虹ヶ浜海岸〕

※雨天時2月23日（土）に延期

*真昼の星を見よう：

2月16日（土）10時～11時30分〔博物館屋上〕

*火起こし・弓矢体験：

2月16日（土）10時～12時〔博物館中庭〕

*博物館太鼓連の実演：

2月16日（土）12時30分～・16時30分～〔博物館玄関前〕

*展示解説：

（「五領ヶ台の暮らし」・「平塚宿」を中心に）

期間中の毎日・午後

（次号にて詳細をご案内します）

主催：博物館まつり実行委員会

平塚と国立科学博物館の資料をコラボレーション展示!!

科博コラボミュージアム in平塚

仮称「今年はうるう年」展

—こよみの歴史と時計の仕組みを科学しよう—

今年はうるう年。2月が29日まであります。これにちなんで、上記企画展示を来月開催します。国立科学博物館の貴重な資料も多数展示。この機会にぜひごらんください。

期間：2月2日（土）～3月30日（日）

*2月29日（金）も開館します

場所：展示室1階寄贈品コーナー

2階情報コーナー

掛け時計（MEIJI CLOCK製）



*菅間荘氏を悼む

博物館の初代館長を務められた菅間荘氏が、昨年末12月16日に逝去されました。菅間氏は、博物館建設準備室長を経て館長に就任され、約1年半にわたって創生期の館活動の先頭に立たれました。準備室時代には、設置条例の草稿を立案され、博物館の礎を築かれました。最近では、絵馬コレクションの一部や少年時代に収集された昆虫標本を寄贈して下さるなど、終生博物館を暖かく見守ってくださいました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

4	金	☆	ミニ文化祭「編みと織りの考古学」 ～1月29日	情報コーナー
5	土	☆	プラネタリウム「1月の星空ナビ」	プラネ
		☆	プラネタリウム「2008年の天文現象」 ～1月27日まで	プラネ
6	日		水辺の楽校生きもの調べの会	科学室
10	木		石仏を調べる会	特研究室
12	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
13	日		地質調査会	屋外（雨：科学室）
			平塚の古代を学ぶ会	講堂
			古代生活実験室	科学室
16	水		裏打ちの会	科学室
			民俗探訪会	講堂
17	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
18	金	◎	古文書講読会	講堂
			星を見る会	屋上・科学室
			天体観察会	屋上・科学室
19	土		相模川の生い立ちを探る会	科学室
			星まつりを調べる会	特研究室
20	日	◎	ろばたばなし	民家
24	木		石仏を調べる会	特研究室
25	金		古文書講読会	講堂
26	土		地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
			博物館太鼓連	講堂
27	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
			天体観察会勉強会	科学室

<展示とプラネタリウム>

☆プラネタリウム「2008年の天文現象」
今年見られるおもな天文現象を、プラネタリウムと全天シミュレータの機能で一気に紹介します。
投影日：1月4日（金）～2月3日（日）
土・日曜午前11時と午後2時
（ただし1月5日午後2時の内容は「1月の星空ナビ」です）
観覧料：100円（中学生以下無料）

☆プラネタリウム「1月の星空ナビ」
惑星の位置や見え方、月の満ち欠けなどを解説します。
投影日：1月5日（土）午後2時
観覧料：100円（中学生以下無料）

☆ミニ文化祭「編みと織りの考古学」
古代の技術を展示で紹介します。
（東海大学校地内遺跡調査団の展示です）
期間：1月4日（金）～1月29日（火）
場所：展示室2階情報コーナー

☆寄贈品コーナー「相模平野の微地形と地盤」
平塚の平野の地盤と地形、地質との関わりについて展示しています。（好評につき展示期間延長しました）
日時：～1月29日（火）
場所：展示室寄贈品コーナー

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。
日時：1月12日（土）午前9時30分～11時
場所：平塚虹ヶ浜海岸
参加：自由（初めての方は往復はがきで申し込んで下さい）

1	金		古文書講読会	講堂
2	土	☆	寄贈品コーナー「今年はどういう年（仮称）」～3月中	寄贈品コーナー
		☆	プラネタリウム「2月の星空ナビ」	プラネ
3	日		天体観察会	屋上・科学室
			平塚の古代を学ぶ会	講堂
			古代生活実験室	科学室
6	水		天体観察会	屋上・科学室
7	木		民俗探訪会	講堂
8	金		展示解説ボランティアの会	特研究室
9	土		古文書講読会	講堂
		☆	博物館まつり（～24日）	特展室
		☆	プラネタリウム「太陽活動NOW」～4月6日まで	プラネ
			地質調査会	屋外
	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室	
			天体観察会	平塚海岸
10	日	○	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
			ひらつか探検隊！「平塚のどんどんやきを調べよう」	特研究室
14	木		石仏を調べる会	特研究室
15	金		古文書講読会	講堂
16	土	◎	星を見る会	屋上・科学室
17	日	◎	博物館まつり発表会	講堂
			博物館太鼓連	屋外
17	日		地質調査会	科学室
		◎	ろばたばなし	民家
20	水		裏打ちの会	科学室
21	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
22	金		古文書講読会	講堂
23	土		相模川の生い立ちを探る会	大磯町鷹取山
			地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
			星まつりを調べる会	講堂
24	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
28	木		天体観察会勉強会	科学室
			石仏を調べる会	特研究室

*2月29日（金）もこよみ企画展示のため臨時閉館します

◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
日時：1月20日（日）（1）午後1時20分～（2）午後3時～
場所：展示室民家
参加：自由

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会
「宇宙って、どんなふうになっているの？」
最近の成果を取り入れたCG映像をまじえ、宇宙のすがたをくわしく解説します
日時：1月27日（日）午後3時30分～4時30分
場所：プラネタリウム室
参加：自由（プラネタリウム室集合）

◎星を見る会「火星と冬の星座」
オレンジ色に明るく輝く火星と冬の星座の星々を望遠鏡で眺めます。
日時：1月18日（金）午後7時～午後8時30分
場所：博物館科学教室・屋上
参加：自由（科学教室集合）

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制